

(別紙) 第4回水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者表彰受賞者

○最優秀賞 (環境大臣賞)

おかやまけんりつつやまこうぎょうこうとうがっこうこうぎょうかがくか
岡山県立津山工業高等学校工業化学科 (岡山県)

富栄養化したため池での水生生物を利用した水質浄化、水生植物を飼料やバイオマスプラスチックとして再利用する環境浄化システムの研究開発、廃食用油石鹸の普及開発、環境保全アドプト事業への参加など従来型の水環境保全活動に加えて、次世代を見据えた環境技術の開発研究を行っている。

○優秀賞 (日本の水をきれいにする会会長賞)

おおふかさわすいえんいんかい
大深沢水園委員会 (岩手県)

川の無機質な三面張り水路に疑問を持ち、河川管理者を動かし、人が集う川作りに先導的な役割を果たした他、住民自らが行政に頼らない自主的な草刈、花壇整備等の活動を行なっている。また、生物が棲める川の環境づくりや川を学習の場・憩いの場として活用する等18年間模範となる活動を行っている。

○優秀賞 (日本の水をきれいにする会会長賞)

かつらがわ さがみがわりゅういききょうぎかい
桂川・相模川流域協議会 (山梨県・神奈川県)

山梨県と神奈川県を流れる桂川・相模川の流域環境保全行動計画「アジェンダ21桂川・相模川」は、行政が原案を示すのではなく当初から市民、事業者、行政が協働作業をして1998年に策定。本協議会はこの主体としてその後10年にわたり、4万人以上が参加するクリーンキャンペーン、上下流交流事業、流域シンポジウムなど地域に密着した環境保全活動を行っている。

○優秀賞（日本の水をきれいにする会会長賞）

さかいしりつかみいししょうがっこう

堺市立神石小学校（大阪府）

総合的な学習の一環として「親しめる石津川をめざして」をテーマに、市内を流れる石津川のフィールドで水の汚れを分解し、養分として吸い取る効果のあるヨシを継続的に植えつける（ヨシ原再生実験）活動や河川敷にヨシ原を再生させ水辺への愛着の醸成や人と自然がふれあう水辺空間の再構築を図る活動など模範的な普及啓発活動を行っている。